

厚生労働科学研究費補助金(障害者政策総合研究事業)  
「医療機関における心理検査の実施実態と活用可能性に関する研究  
(研究代表者:松田修)

研究課題名「公認心理師による身体疾患患者に対する心理検査の  
多職種連携促進や医療チームによる患者理解への活用可能性」  
(承認番号:20231179)

インタビューガイド  
(2024年11月26日 第2.0版)

## 事前確認

### ● インタビュー目標の再確認

「公認心理師によって実施される身体疾患患者に対する心理検査について、日頃から公認心理師と連携・協働している他職種から見て、どのような場面でどのような点で役立っているのか」について、具体的に明らかにする。加えて、心理検査以外の心理アセスメントで役立っていると感じる状況があるかについても検討する。

### ● 事前準備

- 説明文書（対象者、担当者に事前送付済み）
- 当日画面共有する質問リスト
- PC/Wi-Fi 環境チェック
- Zoom アップデート
- 筆記用具・メモ用紙（インタビューは録画するが、必要に応じてインタビューガイドに記録）
- インタビューガイド

### ● 面接構造の確認

基本形：インタビュー（協力者）1名に対して、インタビュアー1名による半構造化面接

### ● 時間配分の大まかなチェック

- ・開始時の説明・導入：10分
- ・質問：45分（質問1：10分＋質問2：5分＋質問3：10分＋質問4：8分＋質問5：7分＋質問6：5分）
- ・終わりのあいさつ・事務連絡・その他：5分

計 60分

### ● 面接手順

事前送付書類

- 説明文書
- 謝金口座届

事前アンケートについては回答の上、インタビュー前日までに回答していただくよう依頼する。インタビュー当日は、事前アンケート結果と質問リストを画面共有しながら、自由に話していただく。テーマに関わる発言が引き出せるよう、適宜、質問や促しを行う。

## 1. インタビューの対象・日時等

協力者	氏名							
	施設名							
	部署名							
	職種							
研究同意	<input type="checkbox"/> 研究について説明文書に基づき十分な説明を受け、自由意志に基づき口頭で同意した（口頭同意を取得した後で <input checked="" type="checkbox"/> を入れる）							
インタビュー	日時	年	月	日	曜日	時間	： ～ ：	計 分
	場所	ウェブ会議システム (Zoom)						
インタビュアー	氏名							

## 2. 開始時の説明・導入

インタビューを担当する□□（施設名）の〇〇（氏名）です。よろしくお願いたします。本日はお忙しい中、インタビュー調査にご協力いただき、また、事前のアンケートにもご協力いただきまして、ありがとうございました。

最初に、自己紹介をお願いします。お名前と、ご所属機関、部署、職種名等をご紹介ください。必要に応じて、事前アンケートへの記載内容などを元にアイスブレイクありがとうございます。

**最初に、今回の研究の目的と、インタビュー調査について改めてご説明致します。**

今回行われている、厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）「医療機関における心理検査の実施態と活用可能性に関する研究」の分担研究である、「公認心理師による身体疾患患者に対する心理検査の多職種連携促進や医療チームによる患者理解への活用可能性」では、身体疾患患者に関与している医療専門職の方を対象に、公認心理師による身体疾患患者に対する心理検査が、多職種連携促進や医療チームによる患者理解にどのように役立っているかについて、インタビュー調査で明らかにします。

このインタビュー調査へのご協力については、既にご内諾をいただいておりますが、この場で改めてご意思を確認させていただきます。

お手元の「インタビュー調査についての説明文書」をご覧ください。〈画面共有で説明文書を読み上げる〉何かご質問があれば、仰ってください。〈質問があれば対応〉

### 説明文書の画面共有

Note

では、この内容について説明を受け、ご理解いただいた上で、本日のインタビュー調査へのご協力にご同意いただけるでしょうか（同意取得後、前ページにある表の研究同意欄に☑を入れる）。

それでは、この後の内容は録画をさせていただきます。

### 録画開始

—(zoom 画面下の「詳細」→「レコーディング」→「このコンピューターにレコーディングする」をクリック)—

では、本日のインタビューでお話しを聞かせていただきたいことの「質問リスト」を、画面共有させていただきます。

### 質問リストの画面共有

### 質問開始

### 3. 質問

本日は、画面にお示しした6つの内容についてお伺いいたします。  
まず、最初のご質問です。

#### 質問1

あなたが身体疾患患者に関わる中で、公認心理師による身体疾患患者への心理検査は、どのような場面で行われているのでしょうか。できるだけ具体的にお話してください。

事前アンケートで、公認心理師との連携・協働場面として、「〇〇」とお答えいただきました。公認心理師による身体疾患患者への心理検査がどの程度活用されているという質問でのお答えは、「よくある・まあまあある・あまりない・ほとんどない」でした。

最初に、あなたが身体疾患患者に関わる中で心理検査の実施状況についてお聞きします。心理検査は、何かの特定の治療の一環として組み込まれて実施されていることが多いでしょうか。もしくはその時々状況に応じて行われることが多いでしょうか。

続いて、心理検査が行われている実際の状況について、具体的にお話しいただけますでしょうか。

#### 心理検査の実施場面について話を深めるための確認事項

話を引き出した事項はそれぞれにチェック（無理に全部を埋める必要はない）

- 対象となる疾患や状態
- 心理検査のデータがあると良いと思う状況（あれば）

Note

続いて、2つ目のご質問です。

#### 質問2

あなたが身体疾患患者に関わる中で、身体疾患患者に対して公認心理師が行う心理検査は、どのようなものが行われているのでしょうか。検査の具体名でなくても、「〇〇に関する検査」のように検査の種類でも大丈夫ですので、お話しください。

#### 心理検査の種類・内容について話を深めるための確認事項

話を引き出した事項はそれぞれにチェック（無理に全部を埋める必要はない）

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 心理検査の対象となる疾患や状態             | <input type="checkbox"/> 行われている検査で最も多い検査の種類 |
| <input type="checkbox"/> 関わっている患者全体で、心理検査が活用される患者の割合 |   |

Note

では、3つ目のご質問です。

### 質問3

貴院において、公認心理師が行う心理検査は、あなたの職種から見て、特にどのような場面で役立っていますか。できるだけ具体的にお話してください。

事前アンケートで、公認心理師による身体疾患患者への心理検査が役立っていることとしてお答えいただいたのは、「患者対応への提案・患者の心理特性（発達傾向など）や心理状態（不安、抑うつなど）の把握・患者との治療・支援方針の共有・患者の長所や強みの理解・意思決定支援（意思決定能力の評価を含む）・多職種連携の促進・ケースカンファレンスの資料・治療やリハビリテーションの効果測定・治療経過の把握」でした。

事前アンケートで挙げてくださった項目をもとに、具体例を挙げてお話しください。（項目からの回答が難しい場合）ここに挙げていなかった内容についてご説明いただくのでもかまいません。

#### 心理検査が役立っていることについて話を深めるための確認事項

話を引き出した事項はそれぞれにチェック（無理に全部を埋める必要はない）

公認心理師との接点

患者に役立っている活動（事例ではなく）

（例）心リハ患者さん全員に心理検査取って、その結果をフィードバックしストレス対処についてアドバイスする

公認心理師との多職種連携

基本的にはインタビューから見て、どう役立っているかを答えてもらうのが良いが、具体的な場面をあげる中で、インタビューに留まらず「多職種」にとって役立っている、のような回答があればそれも取り上げる。

医療者に役立っていること

Note

次に、4つ目のご質問です。

#### 質問4

心理検査を用いずに、公認心理師のアセスメントが役立っている状況があれば、できるだけ具体的にお話しください。

#### 心理検査が役立っていることについて話を深めるための確認事項

話を引き出した事項はそれぞれにチェック（無理に全部を埋める必要はない）

- |   |
|---|
| <input type="checkbox"/> 公認心理師との接点  |
| <input type="checkbox"/> 患者に役立っている活動（事例ではなく）<br>例：心リハ患者さん全員に心理検査取って、その結果をフィードバックしストレス対処についてアドバイスする  |
| <input type="checkbox"/> 公認心理師との多職種連携<br>※基本的にはインタビューから見て、どう役立っているかを答えてもらうのが良いが、具体的な場面をあげる中で、インタビューに留まらず「多職種」にとって役立っている、のような回答があればそれも取り上げる。 |
| <input type="checkbox"/> 医療者に役立っていること   |

Note

では、5つ目のご質問です。

#### 質問5

貴院において、公認心理師が身体疾患患者に行う心理検査を含めた心理アセスメント（見立て）が、さらに有意義に活用されるようになるにはどのようなことが必要でしょうか。

#### 公認心理師が身体疾患患者に行う心理検査を含めた心理アセスメント（見立て）の

#### さらなる充実のために望むことについて話を深めるための確認事項

話を引き出した事項はそれぞれにチェック（無理に全部を埋める必要はない）

- |   |                                       |
|---|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 公認心理師に望まれる役割・専門性 | <input type="checkbox"/> 必要な知識・スキル・態度 |
| <input type="checkbox"/> 公認心理師の課題・問題点     | <input type="checkbox"/> 配置その他の職場システム |

Note

最後のご質問です。

**質問6**

今までの内容に関して他に付け加えていただけることや、貴院に限らず、身体疾患患者に関わる公認心理師についてお考えのことがあれば、お話しください。

身体疾患患者に関わる公認心理師の養成や研修、望まれるあり方、意識などについても、お考えがあれば聞かせていただければと思います。

身体疾患患者に関わる公認心理師のあり方について話を深めるための確認事項

話を引き出した事項はそれぞれにチェック（無理に全部を埋める必要はない）

<input type="checkbox"/> 職場での活動に関する追加事項	<input type="checkbox"/> 身体疾患患者に関わる公認心理師の現状や課題
<input type="checkbox"/> 身体疾患患者に関わる公認心理師に望むあり方	<input type="checkbox"/>

Note

#### 4. 終わりのあいさつ

たくさんの質問にお答えいただき、ありがとうございました。本日のインタビューはこれで終わりです。このインタビューに関して何かご質問はありますか（質問があれば対応）。

Note

長時間のご協力に感謝いたします。それでは、これで録画を終了します。

録画終了

#### 事務連絡 および 御礼

- 謝金について  
後日振り込みとなること、支払いの都合上、「有識者会議への参加」の名目となることを伝える。
- 協力へのお礼  
最後に、事前アンケートへの回答や本日のインタビュー参加へのご協力について、お礼を伝えて、インタビューを終了する。

インタビュー終了